

一般公開プログラム（入場無料・申込不要）

境界の外側から見える日本語教育学 —異なる専門分野から見えてくるもの—

登壇者：安藤寿康氏（慶應義塾大学文学部教授）

加藤三保子氏（豊橋技術科学大学特任教授）

久保昌弘氏（辻料理学館「辻調グループ」/日仏経済交流会理事）

司会：倉八順子（東京富士語学院・調査研究推進委員会委員）

2023年
5月27日(土)・28日(日)
オンライン開催

お申込み方法・料金

<有料プログラムへの参加>

◆大会参加費：【事前参加登録のみ ※登録完了後、予稿集のダウンロード及び春季大会特設ページへのアクセスができます】

会員 3,500 円 / 会員（有効期限付きの学生証を提出済みの方）2,000 円 / 会員でない方 5,000 円

◆事前参加登録は、下記期間中にご登録をお願いします。当日のご登録はできません。

◆学会ウェブサイト (<https://www.nkg.or.jp/>) 上のマイページからご登録ください（登録期間：4月16日(日)～5月15日(月)）。

<無料プログラムへの参加>

事前参加登録は不要です。参加方法については、学会ウェブサイトをご参照ください（4月中旬に詳細を公開予定）。

お問合せ先

E-mail: taikai-office@nkg.or.jp（下記を除く大会に関する問合せ先）

nkg.taikai@gmail.com（オンライン参加に関する技術面の問合せ先）

TEL: 03-3262-4291

日本語教育学学会春季大会

日本語教育学の「これまで」を振り返り、「これから」を指し示す

大会日程（概要）

27日(土)

- 10:00 一般公開プログラム
- 12:00 わかばさんいらっしゃい
Net-J 紹介ブース
- 13:50 パネルセッション
- 15:30 賛助団体会員出展ブース

28日(日)

- 9:20 ポスター発表（午前の部）
- 9:30 口頭発表（午前の部）
- 12:30 ぷらさ da わかば
交流の部屋
- 12:40 各種説明会
- 13:40 口頭発表（午後の部）
ポスター発表（午後の部）
- 15:20 交流の部屋

企画プログラム

一般公開プログラム（入場無料・申込不要）㊦

行動遺伝学、手話言語学、食育・食文化の専門家が日本語教育学を新たな視点から語ります（手話通訳あり）。

わかばさんいらっしゃい㊦

事前に配信する動画で、大会のしくみや聞く発表の選び方、大会の楽しみ方などをご説明します。大会当日は動画の内容について質疑応答を行なった後に「わかばさん交流会」を開催し、わかばさん同士でお話できる場も用意しています。新しい出会いがあると大会はもっと楽しくなり、ネットワークも広がっていくでしょう。

日本語教育研究・実践ネットワーク (Net-J) 学会・研究会紹介ブース（入場無料・申込不要）㊦

2015年、「日本語教育研究・実践ネットワーク (Net-J)」が発足しました。Net-J は 7 つの研究会等で組織されたネットワークです。本ブースでは、各分野の情報や、取り扱っている分野の最新情報についてご紹介します。

賛助団体会員出展ブース [活動紹介・書籍紹介・教材紹介等]（入場無料・申込不要）㊦

本出展ブースでは本会の賛助団体会員専用のブースを設け、各団体の紹介や最新情報の発信、書籍・教材等の紹介を行います。当日のブースのほか、オンデマンドによる動画配信、資料配信もありますのでぜひご覧ください。

ぷらさ da わかば㊦

日本語教育の先を歩いている「センパイ」と気軽に話してみませんか？ 研究や実践、キャリアの相談など、少人数（1～3人）で「センパイ」と対話できる企画です。大会参加申し込み後、「ぷらさ da わかば」にお申し込みください（定員20名程度、先着順）。詳細はチラシまたは学会ウェブサイトをご覧ください。

交流の部屋㊦

二日目の昼休みと午後の口頭発表が終了したあとに50分ほど交流のスペース・時間を設けます。発表者と参加者、あるいは参加者同士が、さらに意見交換をしたり情報交換をしたりして交流を深める場としてご利用ください。

「日本語教育グローバル人材奨励プログラム」説明・相談会㊦

前年度の受給者から、本プログラムを活用し、研究、活動をして良かった点などを語ってもらいます。また、国際連携委員会の委員が助成プログラムについて説明をし、質問等を受け付けます。本プログラムの具体像を掴んでいただくことができますので、若手研究者・実践者のみなさま、ぜひこの機会をご活用ください。

JICA 海外協力隊経験を国内の日本語教育に活かす～民間・自治体・大学等との連携～㊦

JICA 海外協力隊の2023年春募集を例に、日本語教育に関して、開発途上国のどのような機関から、どのような協力要請があるのかについてご紹介します。また、日本での経験を開発途上国で活かし、開発途上国での経験を日本に還元する仕組みの一つの事例として、JICA と民間・自治体・大学等との連携に関する取組についてご紹介します。

大会プログラムはこちら→



公益社団法人

日本語教育学会

Association for Japanese Language Education